

令和8年度第1回学校運営協議会報告

県立浜松特別支援学校

1 日時 令和8年6月1日（月） 午前10時から正午まで

2 出席者

(1) 委員

- 浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授 笹原 康夫
- 特定非営利活動法人 くらしえん・しごとえん 代表理事 鈴木 修
- 江之島町自治会長 鈴木 定明
- PTA会長 渥美 祥子
- 南障がい者相談支援センター センター長 大場 拓弥
- 浜松市防災学習センター センター長 藤田 具克

(2) 教職員

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、教務課長、特別支援課長、進路支援課長、情報教育課長

3 報告

(1) 開会

ア 校長挨拶

- ・面談週間において、学校応援隊の方による草取りは、大変ありがたい。
- ・昨年度、高P連で渥美PTA会長に実践発表をしていただいたが、文部科学大臣賞に推薦されている。

イ 自己紹介

ウ 委員の委嘱

エ 会長、副会長の選出

会長：笹原 康夫氏 副会長：鈴木 修氏

(2) 学校経営計画、不祥事根絶取組計画に関する説明

- ・質問、意見はありません。

(3) 熟議

ア 各グループの報告より

① 学習・防災応援隊

テーマ 「学校応援隊 継続できるシステムづくり」

【募集内容について】

- ・呼び掛けも含め、日時、曜日が分かると参加しやすい。
- ・ポイントカードなどで意欲を高められるとよい。

【募集方法について】

- ・応援隊活動を今後、どう広めるか、どう周知するか。
→メール、COCOO、Instagram等、様々な方法はあるが、どんな方法が良いのかは検討が必要。また、退職校長会からの支援協力依頼について、呼び掛けも必要である。

【継続できるシステムづくりについて】

- ・1回限りで終わらずに継続していけるようにしていくことが課題である。
- ・応援隊としてのボランティア増加は素晴らしいが、広がっていくときにどこかの負担が大きくなることを避けられるようにすることが大事。それが課題である。



- ・参加した方が、「やってよかった。」、「来てよかった。」という充実感を持ち、帰ってもらえる
とよい。

【その他】

- ・防災は、いろいろと配慮していかないといけない土地柄。マニュアル等、生きて使えるもの
なのかの検証が必要ではないか。

② 進路・福祉応援隊

テーマ「進路・福祉に関する指導の充実について」

【進路、福祉に関する教員向け研修会について】

- ・昨年度の研修会 就労選択支援について（大場氏）
 - ・実習の巡回指導について（修氏）
- ※今年度も継続してほしい。

【保護者向けの進路指導について】

- ・進路の手引きは、高等部向けの内容が多い。
 - ・保護者には、小・中・高と分かれていたり、チェックリストと目安が明確だったりすると分か
りやすいのではないか。
 - ・18歳になると「成人」。会社で起きたことも本人の許可がないと家族にも伝えられない。保護
者は学校から社会への変化に戸惑う。
 - ・計画相談を使っている方は、計画の中で進路についても話をしていくが、使っていない方は進
路についての話が分からないかもしれない。
 - ・「小・中学部保護者向けヒント集」や「こんなときどうする？Q&A」など、事例を交えて参
考になるものがあるといい。
- 今後、運営協議会委員の皆様のお力をお借りして、「小・中学部向けの進路の手引き別冊
編」（仮）を作成していく予定である。

【先輩学講座について】

- ・11/2（月）に予定している。

(4) 閉会

- ・第2回学校運営協議協議会 令和8年11月2日（月）午前10時00分～正午まで